

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	国語・国語表現		単位数	2	単位	履修学年	3	年
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・国語を適切に表現し的確に理解する能力を養う。 ・伝え合う力を高め、思考力を伸ばし、言語感覚を磨く。 ・進んで表現する姿勢を身につける。 							
使用教材	<p>【教科書】 高等学校国語表現（第一学習社）</p> <p>【副教材】 新訂国語図説四訂版（京都書房）、新常用漢字必携パーフェクトクリア（尚文出版） 国語辞典第十一版（旺文社）／ テスト式国語常識の総演習〈修訂三版〉（京都書房）</p>							
評価の観点 ・評価規準	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力				知識・理解
	<p>表現に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現するとともに、伝え合おうとしている。</p> <p>課題に積極的に取り組み、また、人の発言をよく聞くとともに、自分の考えを発言しようとしている。</p>	<p>積極的に「話すこと」「聞くこと」の学習に取り組んでいる。</p> <p>自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて効果的に話したり的確に聞き取ったりできる。</p>	<p>積極的に「書くこと」の学習に取り組んでいる。</p> <p>自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書くことができる。</p>	<p>積極的に「読むこと」の学習に取り組んでいる。</p> <p>文章を読むことによって、より適切な表現をするために、自分の考えをまとめたり深めたりすることができる。</p> <p>実際に文章を読むことを通し、表現力を高めることができる。</p>				<p>表現に役立つための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身につけることができる。</p> <p>特に、漢字や語句に対する理解を広げることができる。</p> <p>現代社会における言語のあり方や言語表現の役割等について理解を深めている。</p>
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物の状況、考査の成績、授業に対する取り組み等を総合的に判断して評価する。 							
学 期	学 習 内 容			学 習 の ね ら い				
1 学期	<p>表現の楽しみ 表現の基礎</p> <p>課題作文（400～800字）</p> <p>国語常識</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」の基盤となる事柄を理解するとともに、表現全般に通じる基礎的な方法を習得する。 ・社会人になるにあたって、自分の考えを文章にまとめる。 ・一般的な国語常識を身につける。 				
2 学期	<p>表現の実践（四）－論述－</p> <p>課題作文（400～800字）</p> <p>国語常識</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・1学期に学んできたことをもとに、社会の様々な課題について、自分の考えをまとめる。 ・社会人になるにあたって、自分の考えを文章にまとめる。 ・一般的な国語常識を身につける。 				
3 学期	<p>表現の実践（三）－意見・主張－ 表現の探求</p> <p>自由作文（400～800字）</p> <p>国語常識</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・1、2学期に学んできたことをもとに、社会の様々な課題について、自分の考えをまとめる。 ・社会人になるにあたって、自分の考えを文章にまとめる。 ・一般的な国語常識を身につける。 				
学習上の留意点								

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	【必】地理歴史・地理A	単位数	2 単位	履修学年	3 年
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな地図を見て、作業を加えながら身近に感じることができる地域を題材に地図から得られる情報を見抜く力を身につける。 ・日本の常識にとらわれず、世界の民族・文化・生活を見ていくことで世界情勢などさまざまな事柄を多角的に見る力を身につける。 ・世界で問題となっている事柄が、今の自分たちとどのように関わっているかを具体的に示し、自分たちに今何ができるかを考察する力を身につける。 				
使用教材	【教科書】高等学校 地理A 新版 世界に目を向け、地域を学ぶ (第一学習社) 新詳高等地図 (帝国書院)				
評価の観点・評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解	
	現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	現代世界の地理的事象から課題を見だし、それを地域性を踏まえて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて公正に判断する。	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集・選択し、活用することを通して現代世界の地理的事象を追究する技能を身につけ、追究した過程や結果を適切に表現する。	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身につけている。	
評価方法	「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「資料活用の技能」、「知識・理解」について、一回一回の授業内容に対する意見や理解度を見ながら、何に興味・関心を示しているのかを評価します。また、定期考査の成績、授業ノートと作業プリントの提出を評価します。				
学 期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			
1 学期	第1編 現代世界の特色と諸課題の地理的考察 1章 地球儀や地図でとらえる現代世界 ・世界地図の特徴 ・国家の領域と領土問題 ・国家をこえた結びつき ・交通機関の発達と縮小する地球世界 ・情報・通信で一体化する世界 ・人や「もの」・資本で結びつく世界	<ul style="list-style-type: none"> ・地球儀や地図を多面的にとらえることで、グローバル化した現代の問題を考察する。 ・国家とは何かを考える。 ・日本を中心とした領土問題について、歴史的経緯も含め考察する。 ・交通・通信の発達と影響を理解する。 ・国家間の結合の活発化・複雑化を理解する。 			
2 学期	2章 世界の人々の生活を取り巻く地理的環境 ・さまざまな環境 ・世界的視野からみた気候 ・世界の気候と生活 ・世界の民族・宗教と生活・文化 3章 世界の諸地域の生活・文化と環境 ・東アジア、東南アジア、南アジア ・北アフリカ・西アジア・中央アジア ・中南アフリカ 4章 私たちが直面する地球的課題 ・人口問題、食料問題、都市・居住問題	<ul style="list-style-type: none"> ・人々の生活様式の差異を、地理的環境とのかかわりから理解する。 ・世界の気候帯ごとに、どのような特徴があり、どのような生活が営まれているのかを理解する。 ・民族性や言語、宗教を理解し現在発生している民族問題の本質や戦争の実態を考察する。 ・生活や文化が歴史や自然環境に影響を受けていることを理解するとともに、異文化を尊重する態度を養う。 ・現在、直面している地球的課題を地域別の特色に注意しながら理解する。 			
3 学期	第2編 生活圏の諸課題の地理的考察 1章 日常生活と結びついた地図 2章 自然環境と防災 3章 生活圏の地理的な諸課題と地域調査	<ul style="list-style-type: none"> ・地図や地形図を読みこなし、地形や自然環境が影響する自然災害を理解し、防災の意識を育てる。 ・自分たちの身近な地域を調査し、課題を見つけ、今後の自らの生き方や行動を考察する。 			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・与えられた課題は、提出期日を守り必ず提出してください。 ・授業での板書をしっかり取り、日々の授業を大切にしてください。 				

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	数学・数学Ⅱ	単位数	2 単位	履修学年	3 年
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指数、対数の公式等を利用した計算ができる。 ・ 微分、積分の概念が理解でき、計算ができる。 				
使用教材	<p>【教科書】改訂版 最新 数学Ⅱ (数研出版)</p> <p>【副教材】書き込み式シリーズ Study-Up/ト 数学Ⅱ (数研出版)</p> <p>自作教材 (プリント)</p>				
評価の観点・評価規準	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解	
	数学的活動を通して、指数関数と対数関数、微分法と積分法の考え方や有用性に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に意欲的に活用しようとする。	数学的活動を通して、指数関数と対数関数、微分法と積分法の考え方を身につけ、事象を数学的にとらえ、論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。	指数関数と対数関数、微分法と積分法の考えにおいて、事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身につけ、よりよく問題を解決する。	指数関数と対数関数、微分法と積分法の考えにおける基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身につけている。	
評価方法	「関心、意欲、態度」については、授業に取り組む態度や発表などによる評価と、提出物などの内容を総合的に判断し評価する。「数学的な見方や考え方」、「表現・処理」、「知識、理解」については、定期考査や基礎力診断テスト、日常の授業の取り組みなどを総合的に判断し評価する。				
学 期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			
1 学期	指数関数と対数関数 <ul style="list-style-type: none"> ・ 指数法則 ・ 対数 ・ 対数の性質 ・ 常用対数 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ここでの学習は、「指数」が主役である。中学生までは指数が自然数である計算を「指数法則」に基づいて行ってきたが、この指数が整数、有理数と拡張される。同時に、累乗根の学習も行う。 ・ 指数と密接な関係にある「対数」を学習して、様々な「対数」に関する計算を学習する。 			
2 学期	微分法と積分法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 平均変化率と微分係数 ・ 導関数 ・ 微分法の公式 ・ 接線 ・ 関数の増減、極大・極小 ・ 不定積分 ・ 定積分 ・ 定積分と面積 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関数の微分について学習し、導関数や接線の方程式について極限を交えながら理解する。ここでの学習内容が後期の学習内容の基礎となる。 ・ 関数の局所的な性質をたくさん積み重ねることにより、関数全体の幾何学的特徴や関数で囲まれる面積を求めることができるようになる。高校入学以来学習してきた内容が、いろいろな場面で登場する。 			
3 学期	既習事項の復習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進路先へ向けてこれまでの既習事項を復習すると共に、日常の事象や社会の事象などを数理的に捉え、数学的に表現・処理して問題を解決する力を養う。 			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予習・復習をしっかりとし、日々の授業を大切にすること。 ・ 与えられた課題は、期日を守り必ず提出すること。 ・ 分からないところは、そのままにせず必ず質問すること。 				

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	数学・【学】数学演習	単位数	2	単位	履修学年	3	年
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1, 2年次で学習した数学ⅠAについて、演習を通して基礎の定着をはかる。 ・ 各公式の使い方、数学的思考方を身に付ける。 ・ 大学入試問題などにも取り組み、論理的に考えられるようになる。 						
使用教材	<p>【教科書】 最新 数学Ⅰ, 最新 数学A (数研出版)</p> <p>【副教材】 はぎ取り式練習ドリル数学Ⅰ【基本から標準編】(数研出版)</p> <p style="text-align: center;">自作教材(プリント)</p>						
評価の観点・評価規準	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解			
	演習等を通して、数学ⅠA全般に関心を持つとともに、数学のよさや有用性を認識し、それらの事象の考察に意欲的に活用しようとする。	演習等を通して、数学ⅠA全般における数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ、論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。	演習等を通して、事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身につけ、的確に問題を解決する。	基本的な概念、原理、法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身につけ、理解する。			
評価方法	「関心、意欲、態度」については、授業に取り組む態度や発表などによる評価と、提出物などの内容を総合的に判断し評価する。「数学的な見方や考え方」、「表現・処理」、「知識、理解」については、定期考査や基礎力診断テスト、日常の授業の取り組みなどを総合的に判断し評価する。						
学 期	学 習 内 容			学 習 の ね ら い			
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 式の計算、式の展開 ・ 因数分解 ・ 3次式の展開・因数分解 ・ 平方根 ・ 1次不等式 ・ 絶対値 ・ 集合、必要条件と十分条件 ・ 2次関数の平方完成 ・ 2次関数のグラフの頂点 ・ 2次関数の最大・最小 			<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年次に学習した内容を確認しながら、因数分解の「たすきがけ」、平方根の分母の有理化、連立不等式等の理解の定着をはかり、応用問題にも挑戦する。 ・ 絶対値では方程式、不等式を解けるようになる。 ・ 2次関数では平方完成し、頂点を読み取り、最大値、最小値を求める(グラフの概形をイメージする)。 			
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2次関数の決定 ・ 2次方程式 ・ 2次不等式 ・ 連立2次不等式 ・ 三角比の値、等式を満たすθ ・ 三角比の相互関係 ・ 正弦定理、余弦定理 ・ 三角形の面積 			<ul style="list-style-type: none"> ・ 2次関数の決定では2次関数のグラフの特徴を理解する。 ・ 2次方程式、2次不等式、三角比について理解を深め、応用問題にも挑戦する。 			
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ データの代表値 ・ 数学Aの復習 			<ul style="list-style-type: none"> ・ データの特徴を表す数字を利用できるようになる。 ・ 場合の数と確率、図形の性質等の理解の定着をはかり、応用問題にも挑戦する。 			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予習・復習をしっかりとし、日々の授業を大切にすること。 ・ 与えられた課題は、提出期日を守り必ず提出すること。 ・ 分からないところは、そのままにせず、必ず質問すること。 						

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	【必】外国語・コミュニケーション英語 I	単位数 2	単位	履修学年 3	年
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が伝えたいことを表現し、相手が伝えようとすることを理解できる。 ・主体的に言語活動を行うことの喜びを体験し、異文化理解に努める。 				
使用教材	<p>【教科書】 Revised COMET English Communication I (数研出版)</p> <p>【副教材】 英語マスターノート (増進堂)、Listening Box 1 (啓林館)、自主教材</p>				
評価の観点・評価規準	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解	
	コミュニケーションに関心を持ち、英語を聞いたり話したりして積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	日常生活の身近な話題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、発表したりして表現することができる。	日常生活の身近な話題について、英語を聞いて、情報や考えなどが伝えようとすることを理解できる。	日常生活の身近な話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともに、その背景にある文化などを理解している。	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとしているか (関心・意欲・態度) ・英語を用いて自分の伝えたいことを表現できるか (表現の能力) ・英語を用いて相手が伝えようとすることを理解できるか (理解の能力) ・背景にある文化等を理解しているか (知識・理解) <p>以上4つの観点を、普段の授業・提出物、考査、基礎力診断テスト、小テスト等で確認し総合的に評価します。</p>				
学 期	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		
1 学期	Lesson6 Flying Wheelchairs Lesson7 Moving As One		<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の身近な話題について英語で質疑応答ができるように学習します。 ・基礎的な会話表現に慣れ、自分のことを伝え相手のことが理解できるよう学習します。 ・文法事項の整理を通して身近な話題についてよりスムーズなコミュニケーションが取れるように学習します。 		
2 学期	Lesson8 Convenience Stores: the Keys to Their Success Lesson9 Malala Yousafzai; Education Can Change the World		<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の身近な話題について英語で質疑応答ができるように学習します。 ・基礎的な会話表現に慣れ、自分のことを伝え相手のことが理解できるよう学習します。 ・文法事項の整理を通して身近な話題についてよりスムーズなコミュニケーションが取れるように学習します。 		
3 学期	Lesson10 Ando Momofuku: the Father of Instant Noodles Reading 2 Hachiko		<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の身近な話題について英語で質疑応答ができるように学習します。 ・基礎的な会話表現に慣れ、自分のことを伝え相手のことが理解できるよう学習します。 ・文法事項の整理を通して身近な話題についてよりスムーズなコミュニケーションが取れるように学習します。 		
学習上の留意点	「自分の伝えたいことが通じ」「相手が伝えようとしていることを理解できた」という喜びを体験できるよう学習します。積極的なコミュニケーション活動への参加が必須です。				

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	【必】保健体育・体育	単位数	3	単位	履修学年	3	年
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1、2年次に学習した技術や体力を基本とし、総合的に学習する力を身につける。 ・ 生涯にわたって計画的に運動に親しむ資質や能力を養うことで、健康の保持増進のための実践力を身につける。 						
使用教材	<p>【教科書】現代高等保健体育 改訂版（大修館）・現代高等保健体育ノート（大修館）</p> <p>【副教材】最新スポーツルール（大修館）</p>						
評価の観点・評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解			
	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任などの態度を身につけていると共に、健康や安全に留意して自ら運動をしようとする。	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己やグループの能力と運動の特性に応じた運動の取り組み方や課題の解決を考え、判断し、それらを表している。	自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行うと共に、運動の技能を高めている。また、自己の体力や生活に応じて体力を高めるための運動の合理的な行い方を身につけている。	社会の変化とスポーツ、運動技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意義と体力の高め方に関する基礎的な事項を理解し、知識を身につけている。			
評価方法	授業への取り組み方を「関心・意欲・態度」、学習内容を高めるための工夫を「思考・判断」、運動の実技試験や授業中での技術発揮（運動）の様子を「運動の技能」「知識・理解」として評価をし、それらを総合的に評価します。						
学 期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い					
1 学期	体づくり運動 ・ 集団行動 ・ 新体力テスト 種目選択制 ・ バレーボール ・ バドミントン ・ サッカー ・ ソフトボール 体育理論	<ul style="list-style-type: none"> ・ 規律、規範を守ることや、責任を持った行動など、集団生活の基礎を身につける。 ・ 体づくり運動では筋力や柔軟性を向上させ生活に必要な体力を養う。 ・ 種目選択制体育を行うことにより、生涯スポーツを視野に入れた種目選択、各種目の運営および管理を行う能力を養う。 ・ スポーツの効果的な学習の仕方を学ぶ。 					
2 学期	組み体操 種目選択制 ・ バスケットボール ・ 卓球 ・ ゴルフ ・ 軟式テニス 体育理論	<ul style="list-style-type: none"> ・ 組み体操を行うことで、仲間と共に1つのものを作りあげる達成感を味わう。 ・ 種目選択制体育を行うことにより、生涯スポーツを視野に入れた種目選択、各種目の運営および管理を行う能力を養う。 ・ 体の作りやすくみを学ぶ。 					
3 学期	種目選択制 ・ バスケットボール ・ 卓球 ・ ゴルフ ・ 軟式テニス 体育理論	<ul style="list-style-type: none"> ・ 種目選択制体育を行うことにより、生涯スポーツを視野に入れた種目選択、各種目の運営および管理を行う能力を養う。 ・ 豊かなスポーツライフの設計の仕方を学ぶ。 					
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体操服の準備を忘れずにしてください（見学時も基本的には同様です）。 ・ 活動場所（体育館、グラウンド等）への集合を、時間厳守で行ってください。 ・ 授業を見学するときは、必ず事前に担当教員に申し出てください。 ・ 授業時の怪我防止（安全確保）のため、授業でのルールや指示をきちんと守るようにしてください。 						

年間授業計画(シラバス)

三重県立伊賀白鳳高等学校

教科・科目	産業・キャリアデザインⅡ	単位数	1	単位	履修年次	3	年
目 標	<p>・自らの進路について考え選択し実現するための能力を身に付ける。また、企業からの外部講師による授業などを通して、自らの将来について考え、望ましい職業観や勤労観を養う。</p>						
使用教材	【副教材】一般常識(対策ドリル)、自作教材など						
評価の観点 ・評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解			
	<p>自己の職業的な能力・適性に関心をもち、多様な他者と場に応じた適切なコミュニケーションを図る中で、それを受け入れて伸ばそうとする。</p>	<p>職業についての総合的・現実的な理解に基づいて、多様な選択肢の中から、自己の意志と責任で当面の進路や学習を主体的に選択する。</p>	<p>職業についての総合的・現実的な理解に基づいて、将来設計、進路計画の見直し再検討を行い、その実現に取り組む。</p>	<p>自己の職業的な能力・適性を認識し、職業生活における権利・義務や責任についての知識を身につけることを通して、職業・勤労に対する理解を深める。</p>			
評価方法	<p>目標を踏まえ、日々の授業への取り組む態度、レポート等の学習成果物、考査、課題テスト等をもとに、総合的に判断し評価します。</p>						
学 期	学 習 内 容			学 習 の ね ら い			
1 学期	<p>1. 進路と自己実現①</p> <p>1) 自己の能力・適性の再考</p> <p>2) 進路アンケート</p> <p>3) 進路講話</p> <p>4) 基礎学力向上</p>			<p>・目標となる将来の生き方や進路先を考え、それを実現するための進路計画を立て、その実現に必要な技術能力を伸ばします。</p> <p>・多様な選択肢から、進路先を主体的に選択し進路実現に向けて確かな学力をつけます。</p>			
2 学期	<p>2. 進路と自己実現②</p> <p>受験準備</p> <p>3. 勤労観・職業観を養う</p> <p>外部講師等によるセミナーおよび講話</p>			<p>・希望する進路実現に向け、自ら課題を設定し、受験対策をすすめます。</p> <p>・働くルール、年金・保険講座、着こなしセミナー等の講話より、職業生活における権利・義務や責任についての知識を身につけ、勤労・職業に対する理解を深めます。</p>			
3 学期	<p>4. 学習の振り返り</p> <p>1) 各種セミナーの振り返り</p> <p>2) 後輩へのメッセージ</p>			<p>・今までの学習を振り返り、卒業後の進路や将来において必要となる知識や技術・能力を補完すると共に、様々な困難を克服するスキルを身につけます。</p>			
学 習 上 の 留 意 点	<p>・日々の授業に対する取り組みを大切し、さまざまな形態での学習を通して、自己の適性を認識し、将来について考え行動する。</p> <p>・与えられた課題は、提出期限を守り必ず提出する。</p>						